

平成31年3月20日
東部農林振興センター 松江農業普及部

標題 「平成30年度だんだん営農塾」閉講式にて新たな担い手に期待高まる。

(ダイジェスト)

3月19日、JAしまね中海干拓研修棟において、営農塾閉講式が開催されました。キャベツ4名、西条柿4名の2コース7名（1名は両コース受講）全員が修了し、このうち3名は新規栽培、1名は自家経営に参画する予定です。

今年度の営農塾は、6月5日に2コースともに開講し、7名が講義と実習等を通して、知識・技術の習得を重ねてきました。

各コースは、次のとおり開催されました。

1 キャベツコース；育苗、定植、施肥、収穫調整、他産地・市場視察、機械操作整備
営農計画作成等（37回）

2 西条柿；摘蕾、摘果、収穫、干し柿加工、剪定、施肥、機械操作整備等
（11回）

※機械整備（1回）は2コース合同実施。

この日、7名全員が修了し、このうち3名は新規栽培を予定しており、1名は自家経営に参画する予定です。

今後、松江地域再生協議会担い手部会など関係機関は、次年度から研修方式を一部変更することとしていますが、引き続き、今年度は実施できなかった牡丹も併せ、松江地域の3大特産の担い手育成を図っていくこととしています。



塾長（松江市農政課長）が修了証を授与



塾生7名のうち4名が営農